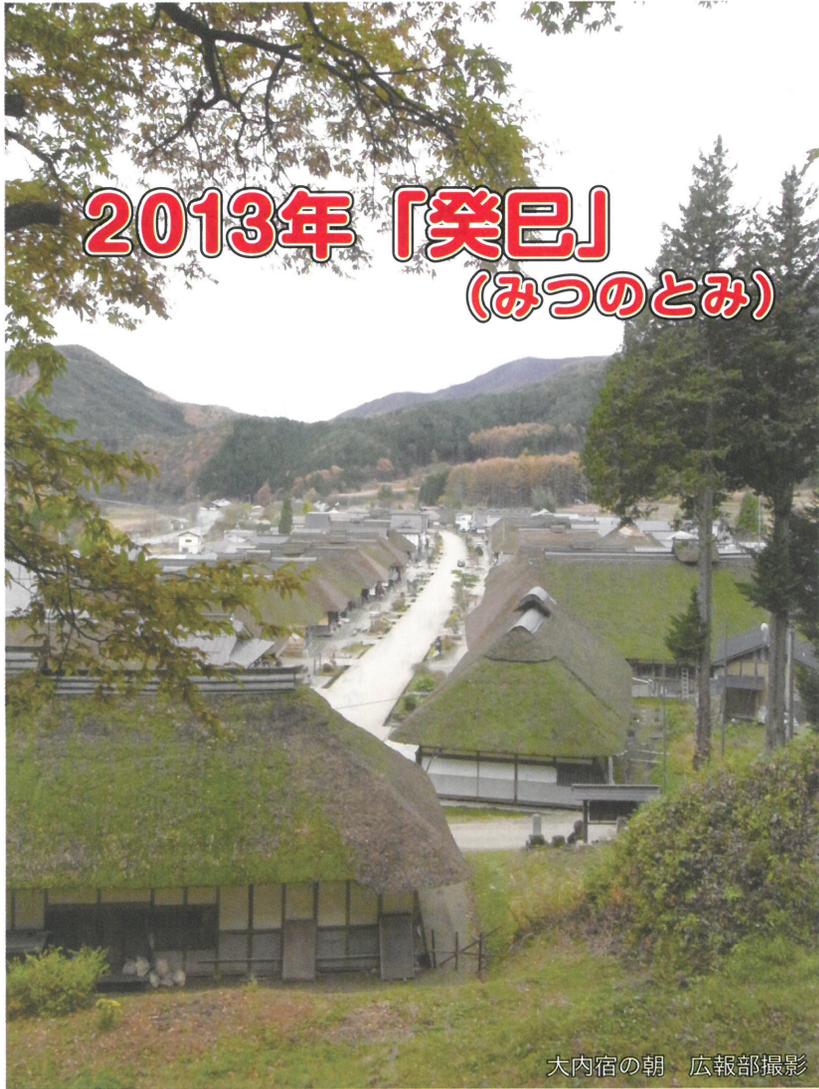




発行
新川中原住民協議会
企画・編集
住民協議会広報部
コミュニティセンター
三鷹市新川1-1-1
TEL 0422 (49) 651-9
http://www1.parkcity.ne.jp/sncc/
印刷 仲田印刷



2013年「癸巳」 (みつのとみ)



新年のご挨拶

新川中原住民協議会
会長 畑谷 貴美子

新年明けましておめでとうございます。
新川中原地域の皆様におかれましては、つつがなく新年を迎えられた事と存じお慶び申し上げます。昨年中は住民協議会の活動に対しご理解とご協力を賜り、委員を代表して感謝申し上げます。
新川中原住民協議会は、初代会長故井上利明様の多大なご尽力により創立され、その後多くの委員の方々のご尽力

や地域の皆様の協力を得て、有意義な活動を通じて、昨年めでたく30周年を迎えました。そのお祝いとすべく、昨年4月15日に、「新川中原住民協議会創立30周年記念式典」を、清原市長始め各方面からの来賓をお迎えし開催させていただきました。その式典に地域の大家の皆様の参加とお祝いを戴き、盛況裡に終える事ができました。誠に有り難うございました。30周年行事を通じてご覧になってみて下さい。

今、私達は一昨年の東日本大震災を経験し、また被災地域の復興が未だ進んでいない多くの現実を知り、改めて身近な地域での人と人とのつながり、支え合いの大切さと必要性を感じています。
新川中原住民協議会では創立以来「町会・自治会長との懇談会」を毎年必ず続けております。これは地域の代表者の方々と住民協議会の役員同士が、先ずは顔見知りの関係を築くと共に、情報を共有しコミュニケーションを相互に取る事により、何か起こった時にお互い「声」を掛け合っただけで済む関係になるものではないかと考えて行っているものです。地域のコミュニティ・センターは皆様の交流の拠点です。小さなお子様から高齢の方々が何気なく立ち寄って一休みしたり、おしゃべりできる場です。グループでの活動の場としての利用も盛んです。
また、昨年も恒例行事である4月のコミュニティ祭り、8月の盆踊り大会、10月のコミュニティ運動会、その他高齢の方々の集いの場「しんなかサロン」や、年間を通して子供たち向けの季節行事、各種スポーツ大会、講演会、コンサート等沢山の事業が催されました。地域のより多くの方々がこうした事業や活動に楽しく参加されて、その場を通じた日常的な出会いから、いざという時の支え合いにつながっていくことを願っています。
地域の皆様が安心して住み続けられる街、地域で支え合いふれあいのある新川中原であり続ける様な活動を今年も行なって参りたいと存じます。本年もよろしくご協力の程、お願い致します。

豆知識

2013年(平成25年)は巳年です。

巳は招財と繁栄、不老不死や再生、成長などを表していると考え、古くから尊ばれてきた。反面嫌われているわりに格言、諺によく登場する。

へびの語源

巳(み)年の干支はへび(蛇)があてられている。

へびのことは、古語ではへみといい、平安期のころまではへみというのが正しかった。そのへみを略して語呂よくしたのが、干支のみのおこりだという。へみのミがピと

変って今はへびとなっている。

へびのことは古語で「へび」のほかにバミ、クチナハともいわれた。バミはハミ、すなわち咬むものから転じたものだという。大蛇のことをウワバミというが、ウワはウハがもとで大という意味。また現在も使われているへびの呼び方クチナハは朽縄の意。

蛇の道はへび

同類、同業者のすることはその道の人にはすぐわかるの意。

杯蛇の厄

何でもないことでも、気の持ちようで病になるのとえ。

蛇化して龍と為るも其丈を

変えず

立身出世してもその本質はかわらないの意。

蛇の生ま殺しは人を噛む中途半端にしておくところが怖いのとえ。

藪をつついて蛇をだす
余計なことをしたために
思わぬ災難を受けること。
やぶへび。

休館日のお知らせ

1月7日(月) 2月4日(月)
14日(火) 11日(月)
15日(火) 12日(火)
28日(月) 25日(月)
21日(月) 18日(月)
新年は4日(金)より開館
1月4日、5日、6日
は5時閉館

紫陽花グループ

初春や富士山白く雪化粧
淑気満つ平和を祈る朝の空

篠崎 穂一
佐藤 千恵子

振り向かず生きて行きたし明けの春
恙なく湯舟で聴くや除夜の鐘

仲俣 真紗子
岩部 美枝子

紫草短歌会

立春の光あつめて道の辺の三桎の花ふくらみて見ゆ

浅川 澄子

高尾より下るリフトの眼下に広がりをり雪積める街

飯田 恵美子

夕空に藍色の富士際立ちて多摩丘陵の彼方に聳ゆ

石島 せん子

お年玉と母は手編みの襟巻を集ふうからに手渡しくれぬ

小野 静江

正月の汁椀漆器紅絹で拭き和紙にくるみて箱に納めり

志賀 朋子

かたまりて太き芽を出す水仙の緑はきほふ初春の庭

高橋 哲子

起きらるる幸せありと思ひつつ床を離れる小寒の朝

平松 美智子

年新た仏間に揃ふ親子孫
満月と輝き競ふ金メダル

坂和 静江
矢作 弘子

葉牡丹俳句会



初芝居播磨屋ぶしの冴えわたる
ぼんぼんと音天翔くるどんど
焼
水神の水わく音や龍の玉
厨にて妣と二人の初明り

鈴木 新一郎
上村 百々子
鎌田 和子
鈴木 りえ

初電話幼き声の入れ替る

大町 千枝

先生と結婚したる初の夢

高橋 哲子

跛をかばいつ恵方詣かな

篠崎 ます

ひとり身の心しづめに初詣

平 都

男前になりたる赤子クリスマス

清水 ゆき子

七味屋の白湯飲んる西の市

上田 時雄

わたくし達の『抱負』!

今年、巳年の老若男女に、抱負を話して頂きました。



中原小学校
石川毅之郎

将来の夢

ぼくの将来の夢は発明家になることです。去年の震災の復興や原子炉の探査などで、多くのロボットが活躍しているのをテレビで見て、「こんな物をもっと作って、しかもそれで社会に貢献することができてカッコイ



中原小学校
大西 舞花

将来の夢

ぼくは、メッツという野球チームに入っています。そこでピッチャーとしてがんばっています。今の目標は、チームのエースになってチームのゆう勝にこうけんすることです。バッターでは、四番になって打率トップを目指したいです。そして色々な大会でメダルをとりたいたいです。将来の夢は、プロ野球選手になることです。チームのエースとなつて、みんながあげられるようなピッチャーになりたいです。

目標と夢

東台小学校
越智 颯士

いな。」と思い、発明家を将来の夢にしました。そのためには、いろいろな勉強をしっかりやってみて自分の夢を叶えたいと思います。そしていつの日か、日本だけではなく、世界中の人々が笑顔でいっぱいになれるような物が発明できたらいいなと思っています。



中原在住
大平 優子

巳年の抱負

私の将来の夢は、美容師です。きっかけは、小学三年生のころから毎日自分の髪の毛を自分で結んだりするようになり、時がたつにつれ、それが楽しいなと思つたのがきっかけです。今でもずっと、美容師になりたいという夢は一度も変わってはいません。いつ自分のお店をひらいて、私のお店を出るお客さんにみんな笑顔で帰っていつてもらいたいなと思っています。お客さんの意見をたくさん聞いてよりよい美容院をつくりあげていきたいです。今から美容師に必要な人と会話する事を通して、少しずつ前に進んでいきたいと思います。

将来の夢

東台小学校
森田ひかり

私の中で最大の夢は、ダンスになることです。私は小さいときから、音楽に合わせて体を動かして来ました。そして二年生の時、私はダンス教室に入りました。その日から現在まで週に二回ダンス教室に通っています。私の夢はまだまだ先の事なので、どうなるかわかりませんが、ですが私は夢に向かって精一杯がんばりたいと思います。

できたらいいな

新川在住
井上 紀子

古稀を過ぎてふりかえると、昭和54年ベルギーから帰国して家ががしをし、100%下水道完備にひかれて中古の家を買った。はじめにしたことは三鷹方式によるボランティアの老人給食であった。まだ新中コミセンがなく井の頭コミセンでつくって中原にお住まいの方に届けた。考えてみれば水泳、電話、訪問、パソコン、習字、ゴルフ、傾聴と沢山のボランティアの中で、私の生活はなりたつていた。このかわりの中で、絶対に足向けて寝られない方がいる。本当に三鷹に住んで良かったと思つている。今年の抱負は元気で楽しく、ゴルフの親交会を町内会で発足させるお手伝いをする事である。

還暦を迎えて思うこと

新川在住
真坂 一二

若いとき還暦を迎えるころには、小さいけれど家を買った孫の世話などして、程なくあの世からの迎えが来るだろうと思つていたが、還暦を迎えても家は無く、孫の顔もまだ見られそうにない。ただ体は丈夫なようであの世からの迎えは来そうにない。今年には還暦を迎えるので健康管理をして、もう少し生かしていただき、若い方に「老人扱いされない」ように、これを抱負としたい。

楽しかった地元での学校生活

中原在住
鵜名山 衣才子

今から何十年も前になりましたが、私は中原小学校に入學しました。当時は児童数が多く2年生からは新しくできた東台小学校に移り、今と同じピカピカの校舎に胸をはずませていました。中原小には1年間しかいなかったのですが今でもしっかりと校歌を覚えています。小学校の後は5年で3年間を過ごしました。

三本の矢

鷹南学園学園長
白井 千晴

新年、明けましておめでとうございます。戦国武将毛利元就が三人の息子に伝えたという「三本の矢」の話は有名ですが、これはコミュニケーションスキルを基盤として小・中一貫教育校鷹南学園における学校・家庭・地域の連携にも同じことが言えると思います。それぞれの役割をしっかりと分担し、子どもたちを育てることが大切だと考えます。学校では、教科指導を通して「確かな学力の定着」をめざしてありますが、それ以外にも学校行事等を通して、子どもたちの「豊かな心」を育てています。

一方、家庭教育で一番大切なことは「躰け」です。躰けは社会のルールを守るために最低限必要な大切なものです。家庭での躰けのおかげで学校での集団生活も成り立っています。また、家庭は、子どもたちが一番安心できる場所でもあります。その日一日のがんばりをぜひ誉めてほしいと思います。そして、地域の皆さんには、様々な場面で子どもたちとの関わりをもつていただき、声かけをお願いします。子どもたちの社会性を育むためには、地域の役割が大きいです。登下校時の挨拶等の一声が子どもたちに安心を与え、自分たちは地域から守られていると感じることが出来ます。学校・家庭・地域が三本の矢のように一つになって、地域の宝である子どもたちの健全な成長をはげしく支援しましょう。

東和書道教室
●●生徒募集●●

土曜教室…新川団地第一集会場
午後3時～午後9時

水曜教室…新川団地19号棟 第三集会場
午後3時～午後6時 (募集若干名)

指導料…小中学生 月額5,000円
65歳以上 月額6,000円
高校生以上成人 月額7,000円
入会金 3,000円
ふれあい誌持参の方は入会金免除

☎ 46-7259 新川 5-6-5-705 羽部迄
URL http://www.mitaka-karube.com/

たんぽぽ児童画教室展
子どもアート祭り
「たんぽぽリンピック」

会期：2013年1月10日(木)～14日(月)

10日(木) 15:00～19:00
11～13日 (金土日) 10:00～19:00
14日(月) 9:30～13:00

会場：調布市文化会館「たづくり」
2F 北ギャラリー 入場無料

(中原4丁目教室：月火金土) 入会随時
新川団地教室：水
お問合せ TEL：090-2469-5918

出張サポート
電器パソコン

地デジテレビ
アンテナ工事
設定、販売、処分
故障修理、指導

吉祥寺北町 1-5-14 杉本
tel 03-3920-5684
070-5012-7587

本を出版しました

- 倉田周平著 近代文芸社発売 『きりぎりず』(1000円) (女性記者奮戦記)
- 『まぼろしのゲスト』(1200円)

*「ふれあい」新年号で紹介されました。
●御注文の方には郵送・配達も致します。

☎&FAX 0422(45)7441 (渡辺)

お気軽にご利用ください
あなたの街の 郵便局

- 三鷹新川五郵便局 ☎0422-43-9996
- 三鷹中原四郵便局 ☎0422-43-8875
- 三鷹新川一郵便局 ☎0422-43-9973



1～2月の行事のご案内……新川中原コミュニティセンターへどうぞ!



行事名	内容	日時	対象	募集人員	申込方法	費用・持参する物等	
厚生部会	フリーマーケット	別記参照	1月27日(日)	一般		当日おいで下さい	室内履・買物袋
	絵本の読みきかせ	絵本のお読みかせと手遊びやわらべうた	2月7日(木) 午前10時30分～	乳幼児～ 未就学児の親子		当日おいで下さい	無料
防災防犯部会	防災施設見学会	目黒区防災センター～ 貨幣博物館～ 東京都内見学	2月21日(木) 午前8時30分	一般	10人位	センター窓口へ 2月1日(金) ～13日(水) 申し込み順	昼食代1,500円
健康づくり推進委員会	健康づくり料理教室① 「親子料理教室」	保護者のみ参加の講習会 ・手作りケーキと簡単ランチ	1月17日(木) 受付10時15分～ 午前10時30分～午後1時30分	保護者の方	20人	三鷹市総合保健センターへ 0422-46-3254 受付: 12月17日(月) ～ 1月11日(金)	1回目食材費500円 持物 エプロン、三角布 手拭きタオル、ふきん、台ふきん
	健康づくり料理教室② 「親子料理教室」	親子参加の料理教室 ・おしゃれで簡単パーティメニュー	1月19日(土) 受付10時15分～ 午前10時30分～午後1時30分	親子	12組(24人) 保育有 先着8人		2回目食材費無料 持物 エプロン、三角布 手拭きタオル、ふきん、台ふきん
	保健栄養相談 (月例健康相談)	一般保健相談、血圧測定、栄養相談 【市健康推進課協力】	1月17日(木)・2月7日(木) 午後1時30分～3時	一般	自由	当日おいで下さい	無料

ホームページ <http://www1.parkcity.ne.jp/sncc/>

文化探訪

秋の安曇野行

香川光子

「夫と歩す信濃の紅葉透きとほる」。いや、いきなり拙い句で失礼、でも、「ふん!」と思つたあなた、俳句なんてこんな句から始めていいのだそうです。ちよつと、窓の外を見て下さい。何か浮かんできませんか?

恒例の住協の文化探訪、今回は11月7日、総勢51人で安曇野に行つて来ました。

早朝の出発ということ、畑から霧が立ち上がり、いつもの町が少し幻想的に見え、今日の旅への期待を高めてくれました。

安曇野ちひろ美術館に寄つてから、国営アルプス安曇野公園に。そこで養殖している信州サーモンのお刺身と岩魚の塩焼きの昼食を戴いた後、園のガイドの案内で少し中を歩きました。

斜面に沿つて美しく広がる公園の木々は、オレンジ色は真紅に、淡い黄色は濃い黄色に変化しながら葉を降らせ、

第3回ソフトバレーボール大会

10月28日(日)第3回小学生対抗のソフトバレーボール大会を行いました。

今大会は東台小・中原小3チームずつの戦いでした。

左記の通り中原小が上位を独占しました。東台小の選手次回は頑張りましょう。また、たくさんの保護者のご協力もあり、大変助かりました。ありがとうございました。

優勝 ラランティエ(中原小6年)
準優勝 ラッキーセブン(中原小5年)
3位 こまくつ(中原小6年)

第26回バレーボール大会

平成24年11月18日(日)

優勝 まるちゃんず
準優勝 みどりヶ丘クラブ
3位 ホークス '94
4位 なでしこ
5位 なんくるないさ～

フリーマーケット

2013年1月27日(日) 会場 センター体育館
1月27日(日) 出店 20区画1店2区画まで
午前10時30分～12時 参加資格 高校生以上
申込受付:1月8日(火)からセンター窓口で
参加費:1区画あたり500円 問合せ 事務局窓口(厚生部会)
出店できないもの(タバコ、医薬品、ペット、生鮮食品等) ☎49-6568



正南に望む常念岳は、山肌を白く染めていました。視線を集めていました。高原の冷たい空気と紅葉に、皆の美しい心がなほ一層美しくなつた一日でした。

音楽サロン

ア、秋、ウ、ヴァイオリン

第三回音楽サロンが、11月17日、雨の降る中、72名の参加で開催された。演奏は、前田浩剛・知加子夫妻。ピアノを弾きながら、太宰治や三木露風などの三鷹ゆかりの話。クラシックの解説などをしてくださった浩剛氏、美しい音色を奏でてくださった知加子夫人、チャイコフスキーやバツハ、モーツァルトだけでなく、伊福部昭・芥川也寸志、最後にみんなで歌った、山田耕作的「赤とんぼ」など、ご夫妻の心遣いが溢れた素晴らしい演奏会だった。参加した皆さんからは、「もう一度聴きたい」との熱い声援があった。

文化部・主催



明日のプランを大きく育てます

- JA 東京むさしのスーパー定期
- 給料の振込、年金の受けとりも皆様のJA 東京むさしが便利です。

東京むさし農業協同組合 中仙川支店
☎ 44-7391

<p>和洋酒・食料品</p> <p>つるや 酒店</p> <p>☎ 0422-21443015</p>	<p>各種ガス器具</p> <p>プロパンガス } 用・風呂釜・湯沸器 他 都市ガス }</p> <p>各種家電製品</p> <p>ビデオ・カラーTV・冷蔵庫・エアコン 他</p> <p>プロパンガス・都市ガス併用配管工事</p> <p>アサヒ物産株式会社</p> <p>☎ 0422-48-2611</p>	<p>きそば</p> <p>藏乃家蕎麦店</p> <p>☎ 0422-4621936</p>	<p>米穀・食料品</p> <p>海老沢米店</p> <p>☎ 0422-421502</p>	<p>植木手入・庭園工事</p> <p>大竹造園</p> <p>(新川一郵便局前) 三鷹市中原二丁目二二 0422-462879</p>	<p>月曜日は定休日</p> <p>三鷹市新川一丁目十四 ☎ 0422-4514788</p> <p>植木手入・庭園工事</p> <p>とん忠</p> <p>お食事の店 仕出し弁当</p>	<p>●靴・スポーツ用品の店</p> <p>カインド</p> <p>☎ 0422-46-2844</p> <p>小中学校上履体育着販売店 (司レストラン前)</p>
--	---	---	--	---	---	---



矢吹町のシンボルマーク

復興 力強く前進する矢吹町



矢吹町の花「春蘭」



隆起したマンホール



復旧後

昭和39年に姉妹町の縁を結んでから早48年。農畜産物の販売や子ども交流会、管弦楽団交流、バレーボール交流試合など、様々な形で交流を重ねてきた福島県矢吹町。震災から復興するその姿を確かめるため、紅葉の盛りの矢吹町を訪ねました。

「まずは物資を！」との三鷹市の呼びかけにすぐさま応じた新中住協。それに賛同した皆さんの思いと物資を矢吹町に送ったのが震災直後の4月の事でした。その後「被災地と共に」との想いで開催した『チャリティフェスタ新中』には、朝早くから新鮮な野菜を積み矢吹町の皆さんも駆けつけてくださいました。あれから一年半…被災から立ち上がりつつある矢吹町の取り組みを聞き、私達が今できることは何かを探するため矢吹町役場を訪ねました。

「地震が発生した時、何が起きているのか分からなかった。3階会議室の窓を開け窓が閉まらないうちで抑えながらサッシの中間にしがみついて揺れに耐え、命の危険を感じた。目の下の駐車場の地面が上下し、並んでいる車もジャンプしていた。役場を訪れて

いた町民の方や職員達が次々と建物から出て避難する姿を見て、『いいなあ…僕は助かるのだろうか』と、羨ましく思った。」町民生活課の加藤係長はそう話してくださいました。

3月11日前、改築を終えてこけら落としとして卒業式を行った矢吹中学校の体育館は、その午後避難所となりまいた。同校の耐震工事をしている校舎と改築後の校舎。その被害の差は目を見張る程で言葉を受けないほどの大きなショックを受けたとも…。

重傷者1名、軽傷者6名と幸いにも人的被害は少なかつた矢吹町。それでも震災直後から断水は続きました。50%復旧するのに約10日、85%まで復旧するのに更に4日を要し、100%復旧したのは実に震災から1カ月以上経ってからでした。

行政単独では限界が…

30年前の宮城県沖地震でも直接被害を受けなかったことあつて、震災とは無縁の意識があつたと言う。



「物資備蓄は無論、震災への心構えも不十分だった。」と町民生活課の会田課長。

更に、「行政単独での震災対応には限界がある。発生後1日〜2日が限界。」と消防、行政区（自治会）、ボランティアの重要性をその経験から語って下さいました。

断水時に起きた2件の火災を砂で消火した消防団。家屋被害状況調査、避難誘導、1人暮らしの高齢者宅の屋根シート張り、危険箇所調査及び交通整理、給水活動、仮設トイレ設置と多岐にわたる内容を延べ1417人に対応したそうです。

94の行政区（町会や自治会）においても、行政区内に住む町民の安否確認、町役場から受け取ったブルーシートを行政区内の町民へ配布しました。電話が通じなかつた当時役場が発表した情報の伝達も行政区が請け負ひ、きめ細やかなニーズを可能にしました。最大の力は、社会福祉協議会を窓口にし、町内外から集った災害ボランティアの皆さんでした。

自宅の対応が一段落つくなら炊き出し、給水・救援物資搬入を始めた皆さん。家具や瓦など敷地内の片付をする中

には高校生も見受けられ、その姿に力づけられたそうです。

特に大きな力を発揮したのは看護師有資格者による血圧測定・健康相談、子供の遊び相手、傾聴活動でした。ストレスが溜まりやすい避難生活の中で、理容師・美容師、心理士、整体士によるケアも貴重だったそうです。

一体となった 応急活動の重要性

こうした経験を踏まえ、矢吹町では絶対必要な仕組みとして消防団・行政区・災害ボランティアと共に行動する活動の構想中と伺いました。

無責任に広まる噂は否定することも、その源を突き止めることも容易ではありません。風評も同じで、これを倒せば戦いが終わるといふ敵の総大将が存在しません。倒しても倒しても消えぬ、姿のない敵・風評と戦い続けている被災地のみならず。共に生きていく私達にできる一番身近なことは農畜産物を買うことではないでしょうか。

直後の救援物資、復旧処理を進める時点の資材調達など様々な形があります。実際に矢吹町が受けた支援について、

「地震直後、電話がほとんど通じない時に奇跡的に通じた一本の電話から、消防車で駆けつけてくれた三鷹市の支援は大変嬉しかった」

「復旧工事をしたくても資材や部品がなくて困っていた時、資材を調達・輸送していただいた助かった」とおっしゃっていました。

「一過性ではなく、継続的な支援を！」

を受けクリアした安全なものだけだということを感じてほしい。根拠のない噂に振り回されることなく、賢明な選択で被災地を支えていきましょう。

取材 広報部記



不定期ではありますが、今後も防災に関して一緒に考えていくコーナーを継続していきたいと思っております。



被災地 応援する方法には